

薬用植物園だより

2025年

9月

ゴマは知ってる！植物は見たことありますか？

ゴマ (ゴマ科)



Sesamum indicum Linné

部位	種子
生薬名	ゴマ (胡麻) 局方収載
成分	セサミン、セサミノール、セサモリン (リグナン)
薬理	抗酸化作用、コレステロール低下作用、抗炎症作用
薬能	補血薬、滋陰薬、潤腸薬
漢方	消風散

アフリカ原産の一年草。人類が最も古くから生産・消費してきた油糧作物の一つで、菜種、大豆、落花生とともに四大油糧作物としてよく知られています。インドで最初に栽培化され、その後アフリカ、アジア、そして地中海沿岸南部へと伝播したと言われています。また、干ばつに強く、栽培が容易で、輪作栽培にも適しているため、世界的に非常に有望な作物です。ゴマ属植物は、世界で約20種類知られており、種子の色で白ゴマ、黒ゴマ、黄ゴマなどがあります。一般的には、色が濃くなると油分含量が減少すると報告されています。漢方では、黒ゴマが利用され、身体に潤いをあたえる滋陰薬や大腸を潤し便秘を改善する潤腸薬として漢方薬に配合されています。また、ゴマ油も局方に収載されており、軟膏剤の基材となる他、漢方でも、薬物が皮膚バリアを通過するのに役立つとされ紫雲膏などに用いられています。強い植物なので、家庭菜園で栽培し、ゴマを収穫したり、若葉をおひたしにしたりして楽しんでみるのは如何でしょうか。

ヒオウギ(アヤメ科) **新型コロナウイルス感染症の治療薬でも有名になりました！**

Iris domestica (L.) Goldblatt et Mabb.



部位	根茎
生薬名	射干 (ヤカン)
成分	テクトリジン、イリスフロレンチン (イソフラボン)
薬理	抗酸化作用、抗消炎作用、女性ホルモン様作用
薬能	清熱解毒薬
漢方	射干麻黄湯、清肺排毒湯

中国、朝鮮半島や本州中部以西、四国、九州などに分布する多年草。花は7月初旬から9月頃まで楽しめます。祇園祭や天神祭りの際には「祭花」として、床の間や玄関などに活けたり、軒先などに飾ったりする習慣があります。牛頭天王（ごずてんのう）の祟り（たたり）を鎮める為に始められた祇園祭には欠かせない厄除け植物となっています。生薬では、根茎を射干（ヤカン）と呼び、清熱解毒薬として咽喉の腫脹や疼痛の要薬として漢方薬に配合されます。新型コロナウイルス感染症の漢方治療では多く利用され高い効果をあげました。日本では、「射干」と書いてシャガと読み、ヒオウギとは別の植物を意味しますのでご注意ください。



ホームページでも
ご覧いただけます